



平成27年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年6月30日

上場会社名 テクノアルファ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3089 URL http://www.technoalpha.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青島 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 マネージャー (氏名) 前田 資之 (TEL) 03(5745)9722
 四半期報告書提出予定日 平成27年7月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年11月期第2四半期の連結業績(平成26年12月1日～平成27年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年11月期第2四半期	1,301	△34.4	0	△99.6	37	△85.5	9	△94.0
26年11月期第2四半期	1,982	80.7	223	—	258	—	156	—

(注) 包括利益 27年11月期第2四半期 △5百万円(—%) 26年11月期第2四半期 126百万円(22.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年11月期第2四半期	4.63	—
26年11月期第2四半期	77.82	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年11月期第2四半期	2,146	1,720	80.1
26年11月期	2,425	1,785	73.6

(参考) 自己資本 27年11月期第2四半期 1,720百万円 26年11月期 1,785百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年11月期	—	0.00	—	30.00	30.00
27年11月期	—	0.00	—	—	—
27年11月期(予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年11月期の連結業績予想(平成26年12月1日～平成27年11月30日)

平成27年11月期通期の連結業績予想については、現時点で合理的な算定が困難なため、開示しておりません。通期の連結業績予想については、予想の開示が可能となった時点で速やかに開示します。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年11月期2Q	2,316,000株	26年11月期	2,316,000株
27年11月期2Q	300,110株	26年11月期	300,110株
27年11月期2Q	2,015,890株	26年11月期2Q	2,015,890株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策の効果もあり円安、昨年からの株高基調が継続し、個人消費や企業収益に改善がみられるなど、景気は回復傾向にあります。当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、前年同期のような大型の案件がなかったこと、並びに円安及び主要顧客における当社が納入した設備の稼働率低下の影響により、前年同四半期比で低調に推移致しました。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,301,448千円（前年同四半期比34.4%減）、営業利益は806千円（前年同四半期比99.6%減）、経常利益は37,366千円（前年同四半期比85.5%減）、四半期純利益は9,340千円（前年同四半期比94.0%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①エレクトロニクス事業

当事業においては、当社の主力商品であるワイヤボンダーに代表される半導体製造装置やそれに付随する消耗品等を海外より仕入れ、当社が搬送装置等の付加価値を加えるなどした上で、国内の顧客に販売しております。さらに、エレクトロニクスメーカー向けの材料、大学・研究所向けの研究開発用の小型の機器等を国内外から仕入れ、販売しております。当第2四半期連結累計期間においては、前年同期のような大型の案件がなかったこと、並びに円安及び主要顧客における当社が納入した設備の稼働率低下の影響により、前年同四半期比で低調に推移致しました。この結果、売上高は804,949千円（前年同四半期比35.3%減）、営業利益は36,353千円（前年同四半期比78.5%減）となりました。

②マリン・環境機器事業

当事業においては、マリン事業では、大型船舶向けの救命艇を国内メーカーより仕入れ、造船所に販売、ならびに環境機器事業では、液体の濃縮・分離を行うためのフィルター等を海外より仕入れ、エンジニアリングを行った上で国内の顧客に販売しております。マリン事業については、前連結会計年度以前より受注した案件が予定どおりに売上げました。環境機器事業については、引き合い案件は多くあるものの、装置納入時期のずれもあり、当四半期連結累計期間においては低調に推移致しました。この結果、売上高は178,724千円（前年同四半期比32.2%減）、営業利益は44,707千円（前年同四半期比7.0%減）となりました。

③S I 事業

当事業においては、連結子会社である株式会社ペリテックが、計測・検査システムを顧客から受託し、自社でハードウェア技術とソフトウェア技術を融合した計測・検査システムに仕上げ、顧客に販売しております。当第2四半期連結累計期間においては、のれん償却により営業損失となりました。この結果、売上高は256,122千円（前年同四半期比15.9%増）、営業損失は2,621千円（前年同四半期は、営業利益50,998千円）となりました。

④サイエンス事業

当事業においては、連結子会社である株式会社ケーワイエテクノロジーズが、主に理化学機器分野の研究開発、製造、販売等を行っており、日本国内の大学・研究所等の幅広い顧客と取引しております。当第2四半期連結累計期間においては、のれん償却により営業損失となりました。この結果、売上高は61,652千円（前年同四半期比75.7%減）、営業損失は11,035千円（前年同四半期は、営業利益17,343千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,146,197千円（前連結会計年度末比279,008千円の減少）となりました。これは主に、流動資産においては、現金及び預金の増加190,857千円的一方、受取手形の減少38,798千円、電子記録債権の減少78,595千円、売掛金の減少269,166千円および仕掛品の減少27,876千円、固定資産では、のれんの減少19,190千円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,720,022千円（前連結会計年度末比65,666千円の減少）となりました。これは主に、四半期純利益9,340千円の計上及び配当金の支払60,476千円が行われた一方で、その他有価証券評価差額金の増加3,261千円及び繰延ヘッジ損益の減少17,790千円によるものであります。

(自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は80.1%（前連結会計年度末比6.5ポイント増）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、380,577千円（前年同四半期末比126,007千円の増加）となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは254,236千円の収入（前年同四半期比208,492千円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益37,452千円、売上債権の減少379,658千円、たな卸資産の減少33,429千円、仕入債務の減少94,693千円、未払金の減少33,573千円、未払消費税等の増加8,253千円及び法人税等の支払額125,456千円によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは3,697千円の収入（前年同四半期比97,257千円の増加）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出7,596千円、投資有価証券の取得による支出5,000千円、投資有価証券の売却及び償還による収入15,070千円、貸付金の回収による収入2,311千円及び保険積立金の積立による支出1,071千円によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは60,895千円の支出（前年同四半期比5,662千円の減少）となりました。これは、配当金の支払額60,271千円及びリース債務の返済による支出624千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月期の連結業績予想については、現時点で合理的な通期の業績予想の算定が困難なため開示しておりません。通期の業績予想については、予想の開示が可能となった時点で速やかに開示します。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	192,266	383,123
受取手形	97,168	58,370
電子記録債権	82,143	3,547
売掛金	731,640	462,474
有価証券	—	1,414
商品	348,324	342,588
仕掛品	64,326	36,450
その他	108,168	80,243
貸倒引当金	△901	△325
流動資産合計	1,623,137	1,367,887
固定資産		
有形固定資産	213,788	207,694
無形固定資産		
のれん	200,401	181,210
その他	6,291	5,165
無形固定資産合計	206,692	186,375
投資その他の資産		
投資有価証券	276,283	276,122
その他	105,303	108,117
投資その他の資産合計	381,587	384,239
固定資産合計	802,068	778,310
資産合計	2,425,205	2,146,197

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	201,458	123,744
未払法人税等	119,528	21,604
賞与引当金	—	11,715
前受金	11,946	5,044
その他	159,239	110,968
流動負債合計	492,173	273,077
固定負債		
役員退職慰労引当金	79,727	84,530
退職給付に係る負債	52,064	57,896
資産除去債務	2,903	2,906
その他	12,648	7,762
固定負債合計	147,343	153,096
負債合計	639,516	426,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,210	100,210
資本剰余金	121,646	121,646
利益剰余金	1,789,205	1,738,068
自己株式	△265,826	△265,826
株主資本合計	1,745,235	1,694,098
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,208	14,469
繰延ヘッジ損益	29,245	11,454
その他の包括利益累計額合計	40,453	25,924
純資産合計	1,785,689	1,720,022
負債純資産合計	2,425,205	2,146,197

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日)
売上高	1,982,531	1,301,448
売上原価	1,361,604	905,097
売上総利益	620,926	396,350
販売費及び一般管理費	397,582	395,544
営業利益	223,344	806
営業外収益		
受取利息	3,448	3,397
受取配当金	3,578	3,883
投資有価証券売却益	6,880	—
保険戻戻金	13,467	3,133
為替差益	5,570	22,696
その他	3,720	3,595
営業外収益合計	36,664	36,705
営業外費用		
支払利息	282	49
支払手数料	1,042	95
その他	210	1
営業外費用合計	1,535	146
経常利益	258,472	37,366
特別利益		
固定資産売却益	53	86
特別利益合計	53	86
特別損失		
固定資産除却損	15	—
特別損失合計	15	—
税金等調整前四半期純利益	258,510	37,452
法人税、住民税及び事業税	107,764	22,027
法人税等調整額	△6,146	6,084
法人税等合計	101,617	28,112
少数株主損益調整前四半期純利益	156,893	9,340
四半期純利益	156,893	9,340

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	156,893	9,340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,591	3,261
繰延ヘッジ損益	△25,628	△17,790
その他の包括利益合計	△30,219	△14,529
四半期包括利益	126,673	△5,189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	126,673	△5,189
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	258,510	37,452
減価償却費	8,795	10,951
のれん償却額	15,616	19,190
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△575
受取利息及び受取配当金	△7,026	△7,280
支払利息	282	49
為替差損益(△は益)	△2,661	△6,144
売上債権の増減額(△は増加)	16,972	379,658
たな卸資産の増減額(△は増加)	△85,476	33,429
仕入債務の増減額(△は減少)	△42,925	△94,693
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,489	11,715
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,302	4,803
退職給付引当金の増減額(△は減少)	724	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	5,832
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,880	-
固定資産売却損益(△は益)	△53	△86
固定資産除却損	15	-
保険戻戻金	△13,467	△3,133
未払金の増減額(△は減少)	△2,984	△33,573
未払消費税等の増減額(△は減少)	△6,695	8,253
その他	△58,919	3,479
小計	88,619	369,328
利息及び配当金の受取額	7,045	7,280
利息の支払額	△282	△49
保険戻戻金の受取額	13,467	3,133
法人税等の支払額	△63,105	△125,456
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,744	254,236
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金等の預入による支出	△3,100	△102
有価証券の売却及び償還による収入	10,000	-
有形固定資産の取得による支出	△3,250	△7,596
有形固定資産の売却による収入	226	86
無形固定資産の取得による支出	△900	-
投資有価証券の取得による支出	△10,000	△5,000
投資有価証券の売却及び償還による収入	26,856	15,070
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△112,761	-
貸付けによる支出	△500	-
貸付金の回収による収入	770	2,311
敷金の回収による収入	170	-
保険積立金の積立による支出	△1,071	△1,071
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93,560	3,697

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△54,176	△60,271
リース債務の返済による支出	△1,056	△624
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,233	△60,895
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,505	173
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△99,543	197,211
現金及び現金同等物の期首残高	354,112	183,365
現金及び現金同等物の四半期末残高	254,569	380,577

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	エレクトロニクス事業	マリン・環境機器事業	S I 事業	サイエンス事業	
売上高					
外部顧客への売上高	1,244,614	263,675	221,012	253,229	1,982,531
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	126,639	122	126,761
計	1,244,614	263,675	347,651	253,351	2,109,293
セグメント利益	169,104	48,052	50,998	17,343	285,498

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	285,498
全社費用(注)	△62,153
四半期連結損益計算書の営業利益	223,344

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、株式会社ケーワイエーテクノロジーズの全株式を取得し、連結子会社としたことに伴い、報告セグメントを従来の3事業から「サイエンス事業」を追加し、4事業としております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間より、株式会社ケーワイエーテクノロジーズの全株式を取得し、連結子会社としたことに伴い、サイエンス事業において、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、177,444千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年12月1日至平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	エレクトロニクス事業	マリン・環境機器事業	S I 事業	サイエンス事業	
売上高					
外部顧客への売上高	804,949	178,724	256,122	61,652	1,301,448
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	9,022	—	9,022
計	804,949	178,724	265,144	61,652	1,310,470
セグメント利益	36,353	44,707	△2,621	△11,035	67,403

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	67,403
全社費用(注)	△66,596
四半期連結損益計算書の営業利益	806

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 補足情報

仕入、受注及び販売の状況

(1) 仕入実績

当第2四半期連結累計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(千円)	前年同期比(%)
エレクトロニクス事業	537,786	△41.1
マリン・環境機器事業	107,782	△40.7
S I 事業	—	—
サイエンス事業	40,545	△81.3
合計	686,115	△47.7

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第2四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
エレクトロニクス事業	711,316	△37.7	448,592	△30.4
マリン・環境機器事業	186,319	△16.7	249,755	△33.8
S I 事業	199,594	+13.7	64,303	△14.7
サイエンス事業	61,859	△75.8	1,545	△40.0
合計	1,159,090	△35.5	764,197	△30.5

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (千円)	前年同期比 (%)
エレクトロニクス事業	804,949	△35.3
マリン・環境機器事業	178,724	△32.2
S I 事業	256,122	+15.9
サイエンス事業	61,652	△75.7
合計	1,301,448	△34.4

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。